

市内3カ所で 台風被害の説明会



昨年8月の台風9号による浸水被害について県・市合同の説明会が3回に分けて、被害地域で行われました。東川は元町の中央公民館、柳瀬川は安松町内会館と久米下組自治会館で開催され、多数の地元住民が参加しました。

席上、県は今回の降雨量が3時間で147ミリと観測史上始まって以来の豪雨であり、勾配のきつい東川、柳瀬川でアツという間に複数箇所があふれた状況などを説明。今後の対応策として、緊急的な護岸のかさ上げや河川監視体制の強化などを行うと報告。住民からは今後の対策を強く求める意見が相次ぎました。地元への説明会は西山じゅんじが台風

直後に県に開催実施を求めていたもの。今後も対策にしっかりと取り組んでまいります。



「落ち葉堆肥農法」が 日本農業遺産に認定

三富地域などで江戸時代から伝わってきた「落ち葉堆肥農法」が3月14日、農林水産省の「日本農業遺産」に認定されました。昨年から所沢市、川越市、

ふじみ野市、三芳町、県、JAいるま野が協議会を設立し、世界農業遺産と日本農業遺産を目指していました。落ち葉堆肥農法は、雑木の落ち葉を堆肥にする伝統農法で、現在は三富地域を中心に約80軒の農家が行っており、短冊状の畑に屋敷とヤマ(平地林)が連なる独特の景観が残されています。

当初目指していた「世界農業遺産申請」には落選してしまいましたが、地域の自然と歴史を代表する農法として今後も応援していきたいものです。



障害者雇用に貢献したスワンベーカーリーが閉店

障害者雇用に積極的に取り組んできた「スワンベーカーリー北浦和店」が3月いっぱいまで閉店しました。

スワンベーカーリーはヤマト運輸の元・会長さんが設立した障害者雇用に推進するパン屋さんです。私が県議会一般質問でこの取り組みを紹介して障害者雇用推進を訴えたのは15年前。ちょうどその時、埼玉県の障害者福祉課長として答弁を書かれたのが、今回閉店する北浦和店のオーナー店長の飯塚さんでした。その後、飯塚さんは県庁を早期退職して自らスワンベーカーリー

北浦和店を立ち上げ、足掛け11年間、障害者雇用の現場で奮闘されてきました。

そんなご縁で開店時のセレモニーに私もお招きいただき、その後も県議団の昼食にパンをお願いするなど、ささやかな協力もさせていただけっていました。このたびの閉店はまことに残念ですが、スワンベーカーリー北浦和店が多くの障害者の自立に貢献してきたことはまぎれもない事実です。心からの敬意を表したいと思います。本当にご苦労様でした。



編集後記

「ゼロ」を目指して

○：県新年度予算で犬猫の殺処分ゼロの取り組みも一歩前進しました。従来の市町村を通しての地域猫活動への助成のほか、彩の国動物愛護推進委員(230人)が行う不妊去勢手術も補助することに。

○：加えて、市町村が独自に不妊去勢手術の補助制度を導入する場合は県も助成。さらには、センターに持ち込まれた生まれたばかりの子猫へのミルクボランティアや広報体制も強化していきます。

○：これらは私が会長を務める超党派の「動物議連」の強い要望も後押しになっています。4月には議連で京都の動物愛護センターを視察してきます。

ミルクボランティアとはセンターに収容された生後間もない子猫を預かりミルクや排泄の世話をしてもらうものです



皆様の声を!

まってるにや!!

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県議会公明党議員団

TEL 048-822-9606

FAX 048-822-9408

公明党議員団ホームページ

http://www.komei-saitama.com

さいたま市浦和区高砂3-15-1